



衣替えの移行期間になり、夏服で過ごす生徒も多くなってきました。肌寒い日もありますが、夏が近づいていることが感じられます。陸上競技は先行実施で全県総体が行われています。来週末には全県総体の開会式がオンラインで行われます。特に3年生にとっては、この大会のために3年間頑張ってきたと言っても過言ではない大会でしょう。是非、練習の成果を発揮してほしいです。

☆全県総体壮行式（5/19（水）、体育館）

1学期中間考査最終日の5月19日(水)3校時のテストが終了してから、選手の皆さんには急いで着替えをしてもらい全県総体の壮行式を行いました。

騎手を先頭に、陸上競技部、バドミントン部、男子ハンドボール部の順に入場しました。開式の言葉の後、校長先生からは武田信玄の言葉、「一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつが出る。」を選手のみならず、全校生徒に向けての激励の言葉としてわかりやすくお話くださいました。続いて、生徒会副会長からは、一人一人の目標に向かって頑張ってきてほしいと激励の言葉がありました。その後、1年生を代表して1年A組クラス委員長、2年生を代表して2年A組と2年B組のクラス委員長から激励の言葉が述べられました。その後の各部決意表明では陸上競技部主将、バドミントン部主将、男子ハンドボール部主将の順に大会への意気込みやこれまで関わっていただいた人々への感謝の言葉が力強く述べられました。全県総体でこれまでの練習で培ったものをすべて出し切れるよう願っています。自分自身や仲間を信じて全力で頑張ってください。



☆防災避難訓練（5/25（火）6校時）

県民防災の日の前日5月25日(火)に防災避難訓練が行われました。強風のため、消火体験はできませんでしたが、羽後分署の消防士さんや校長先生のお話を聞いて、自分は大丈夫だと油断することが何よりも危険であることを確認することができました。東日本大震災から10年を迎えた今年、防災について改めて考える時間となりました。



☆令和3年度森づくり事業（きのこ植菌体験）（5/26（水）5・6校時、本校敷地内）

本校では、森づくり活動を通して地域の自然を守り育てていく心を養うことを目的として、県民参加の森づくり事業に参加しております。今年で11年目を迎えました。これまでは、町有林での植樹や下刈りを行ってききましたが、安全面等に配慮して学校の敷地内でできることをしたいということで、シイタケの植菌体験を実施しました。



雄勝広域森林組合の職員の方から説明を聞いてから作業に移ります。

主な作業は次の通りです。

- ①原木に電動ドリルで穴を開ける。
（原木の太さによって異なりますが、30個程度の穴を開ける。等間隔にするのがポイント）
- ②原木に空けた穴の中にシイタケ種駒を金鋸を使ってたたき入れる。（奥まで入れすぎないようにする。）
- ③種駒を打ち込んだ原木を校舎裏に運び、井形に組んでクラスごとに積み上げ、遮光ネットをかける。

～生徒の感想～（抜粋して紹介します）

○1年B組女子

きのこがどうやってできるのかを初めて知って、木に穴を開けて植える作業を手でやることや木を運ぶ作業は1本だけでも大変だと感じ、仕事でやっている人はもっと大変だろうということを知る良い機会になりました。

○3年A組男子

初めて食べ物を一から作ることを試みて、一つ一つの作業がこんなに大変なんだと思いました。今回の体験で食べ物を作る楽しさを知りました。



生徒の感想を見ると、とても楽しんで作業できたようでした。この後は、原木が乾燥しないように、1週間に1回程度たっぷりと散水します。今年度中に収穫するのは難しいようですが、次は収穫の喜びを全校で体験したいと思います。雄勝地域振興局と雄勝広域森林組合の方々、土田様、丁寧なご指導をありがとうございました。